

# 予算の使いみち



## 保健・医療の充実

村民が安心できる地域医療体制を確保するため、平日夜間の急患診療（内科・小児科）を村上市に委託します。

また、村上総合病院の休日診療体制の補助金に159万円を計上しました。

予防接種費用には1720万円を計上し、予防対策に力を入れます。幼児の細菌性髄膜炎による障がい発症を予防するヒブワクチン接種と、小児肺炎球菌ワクチン接種費用を全額助成。中学1年生女子を対象とした子宮けいがん予防ワクチン接種費全額助成も継続します。

少子化対策では、年間10万円を上限とした不妊治療補助

金を新規計上。

また、安心して出産できるように妊婦健診費400万円を計上し全額助成を実施。さらに、子ども通院・入院医療費助成は、中学校卒業まで通院1回530円、5回目以降は無料、入院は1回1200円の自己負担とする制度継続に1650万円を計上しました。医療費助成の充実度は県下でもトップクラスで、中学生までの助成は3年目となりました。



## 福祉の充実

高齢者が安心して健やかに暮らすことができるよう、在宅生活を支援する福祉サービ

スを継続します。さらに、地域の茶の間事業

や元気はつらつ事業など、介護予防策を実施します。

各地区の老人クラブ補助金に120万円、敬老会開催補助金に230万円をそれぞれ計上。社会福祉協議会への補助金は2360万円としました。

障がい者の社会参加を図ることを目的とした福祉タクシー助成金に110万円を計上。一人当たりの助成金を増額するなど、大幅に拡充しました。



## 産業の振興

水田活用推進補助金には1300万円を計上。国の政策に注視しながら対応します。地産地消推進対策費には130万円を計上し、保育園、小

学校、中学校への地元農産物の提供をはじめ、あいさい市利用促進事業として出荷手数料の5%を助成します。

県営土地改良事業負担金は2000万円を計上。新堀、

玉郷立、霧出地区の農地整備を行います。

林業振興として森林加速化・林業再生事業補助金を1500万円計上。事業主体は関川村森林組合で、作業道の開設と原木作業車を導入し、林業活性化を推進します。

商工会補助金に648万円を計上。経営支援事業をはじめ、空き店舗対策や地域商店街の活性化事業を支援します。また、村内消費拡大を目的としたプレミアム商品券発行事業に570万円を計上しました。

ゆ〜むの運営に6100万円、その他観光施設の管理費として4860万円をそれぞれ計上し、運営を管理公社に委託します。



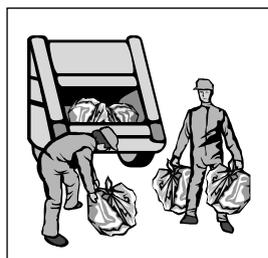
## 安心安全の確保

自主防災組織の推進と育成に130万円、集落への除雪機械購入補助金90万円、要援

護世帯への雪下ろし補助金120万円をそれぞれ計上し、住民の安心安全対策を図ります。

道路の修繕や消雪パイプの布設替えなどの事業費は、1億4400万円。上野新中束線の道路拡幅を行うほか、上関地内と土沢地内に消雪井戸を新設するなど、老朽化の程度や必要性の高い箇所に予算配分しました。

除雪経費は、消雪パイプ電気料や修繕料、除雪委託料など9350万円を計上しています。



## 生活環境衛生の確保

平成26年度稼働予定の村上市新ごみ処理場建設事業負担金を1860万円計上しました。

ごみ処理では、収集委託料に3700万円、村上市へのごみ処理運営費委託料に2400万円をそれぞれ計上。

# 予算の使いみち

9つのコミュニティへの補

## 地域づくり



汚水処理では、下越清掃センター負担金に2500万円、下水道事業会計（公共下水道・農業集落排水事業）繰出金に3億1800万円をそれぞれ計上しました。  
また、安心な飲料水を供給するため、水道事業会計に1500万円、簡易水道特別会計に1700万円を繰出し、住民の生活環境衛生を確保します。

住リリフォーム（改修）の補助金を継続します。20万円以上の改修工事費に対し10%を補助（上限10万円）するもので、村内事業者への発注が条件となっています。  
第2期若者向け共同賃貸住宅建設に向けて、用地購入費

## 住まいの充実



助金に260万円を計上、大したもん蛇まつり会計への補助金は、フクシマフェスティバル経費を含めて720万円としました。  
路線バスの運行補助金に2000万円を計上。越後下関駅の業務委託料には580万円を計上しました。

## 教育環境の充実



小・中学校の通学費には、定期券代1250万円、臨時バス借上料100万円、スクールバス運行費1670万円をそれぞれ計上。教員助手の配置費には2420万を計上し、小・中学校合わせて12名を確保。きめ細かな教育環境に力を入れます。  
給食費では、放射性物質検査料を計上、提供する食材の安心安全を確保します。  
村民会館駐車場整備費に1000万円を計上。村民会館アリーナのライン改修とバスケットゴール改修に490万円を計上しました。

1088万円を計上しました。第1期分（メゾン下関）は入居率100%であり、今年度中の完成を予定しています。

## 村の財政状況は・・・

平成22年度決算では、財政の健全化判断比率4指標のうち、実質公債費比率は14.4%（25%以下が健全）、将来負担比率は54.8%（350%以下が健全）となっています。実質赤字比率と連結実質赤字比率については該当がなく、4つの指標早期健全化基準はクリアしています。

しかしながら、村の財政は地方交付税などの依存財源に頼らざるを得ない体質となっていて、村の財政基盤は決して強いとは言えません。

村の収入は地方交付税が最も多く、平成24年度当初予算では全体の52.1%（20億8,200万円）を占めています。財政基盤の弱い地方公共団体ほど、歳入における地方交付税の割合は高くなります。

こうした厳しい財政事情の中ではありますが、住民の安心安全対策に重点を置いた予算編成を行いました。

平成24年度当初予算の詳しい数値は、村のホームページに掲載しています。

<http://www.vill.sekikawa.niigata.jp/>

関川村 財政

検索

